

【中上自殺事件】

1. 事案の概要

長時間のトラック運転業務に従事し、疲労と会社に対する不満を訴えたり、自殺を仄めかすなどの言動をとっていた労働者が、三菱自動車水島工場から部品を同名古屋工場まで運搬した際、荷降ろしの過程で部品を壊した。この事を苦にして（上司からの厳しい責めもあったと想定される）、名古屋から岡山に向かう途中のサービスエリア内においてトラック荷台で自殺。2003年3月22日(当時53歳)

2. 経過

慢性的な長時間労働がうつ病を発症させ、荷台を壊したことが引き金となつての自殺と構成し、労災申請。

- ・ 2003年9月30日 倉敷労基署長業務外決定
- ・ 2004年7月8日 岡山労災保険審査官棄却
- ・ 2004年8月6日 再審査請求
- ・ 2007年2月15日 岡山地方裁判所に取消訴訟提起
- ・ 2010年1月26日 棄却され敗訴
- ・ 2010年2月26日 広島高裁岡山支部に控訴
- ・ 2010年3月12日 岡山地裁倉敷支部に損害賠償請求を提訴

3. 争点及び現状

- ・ 労働時間の過重性に関する評価基準(認定基準か改善基準か)
- ・ パワーハラスメントがあったか
- ・ うつ病を発症していたか否か
- ・ 積荷事故に関して厳しい叱責があったか